

東建パブリニュース

平成29年 8月24日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年 8月18日 中部経済新聞 P. 1

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

東建コーポ、海外に進出

マレーシアや タイ視野に 今年度中に拠点開設へ

東建コーポレーションの左右田総社長は中部経済新聞社の取材に応じ、2017年度中にも海外に進出する計画を明らかにした。タイやマレーシアでの拠点開設を視野に、主力の賃貸マンション・アパートの建設・仲介事業などを展開する計画。現在、事業化調査を進めている。少子高齢化を背景に国内市場が頭打ちになるなか、海外に活路を見出す。

（竹田ゆりこ）

初の「分譲型」賃貸事業を展開

ネスモデルにも挑戦する。分譲型では、分譲マンションを建設していったん販売し、部屋ごとのオーナーを通じて賃貸・管理する「分譲型賃貸マンション」の事業を始める計画だ。

東南アジアで進出先を模索していたが、このほどタ

イとマレーシアに絞った。「1カ所、もしくは同時に複数カ所」（左右田社長）で、現地事務所の開設を検討している。現地に住む日本人をはじめ、現地人もターゲットに据える。海外事業は3年後までに黒字化をめざす。

また、分譲型賃貸マンションについては、日本国内でも展開する計画で、昨年11月に名古屋市中区新栄に建設用地を取得した。土地面積は約1340平方メートルで、現在は駐車場になっている。今後、構造設計に入り、数年後をめどに完成させる方針だ。

左右田社長は「（分譲型の）仕組みは9割方できあ

がっている。海外進出を含めさまざまな分野で新事業の種まきを行い、現在約3千億円の売上高を、10〜20年後に4千〜5千億円に引き上げたいと話している。

以 上